

牟田智哉さんが最優秀

建コン協九州
旅ノートコンテスト

建設コンサルタント協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は、土木遺産を巡る旅を通して土木構造物にまつわる背景や役割を学び、報告書としてまとめた旅ノートの出来栄などを審査する「旅ノートコンテスト」を開催した。九州大学の学生が対象で、30日に書類審査を通過した上位4人によるプレゼンテーションを行い、最優秀賞に牟田智哉さんの「『縁の下の

最優秀賞に選ばれた牟田さん
（前列中央）



力持ち」な土木技術者」が選ばれた。

旅ノートコンテストは、「夢アイデア交流会202

3」で特別賞を受賞した九州地域づくり協会の岩崎香織さんのアイデアを基に今回初めて開催した。

学生は事前に九州の土木遺産についての講義を受け、5月11日に熊本県内の通潤橋、新阿蘇大橋、阿蘇立野ダムを巡り、その後旅ノートを完成させた。

牟田さんは土木構造物に土木技術者の懸命な努力が隠されていることを知り、出身地の北九州市にある若戸大橋について調査を行い、建設に至った背景や建設過程での苦労などをまとめた。受賞後「土木構造物

の歴史や使命、苦労などを知るのが大事だと改めて感じた」と述べた。

審査講評で田中支部長は「持続可能性や脱炭素社会の構築、景観などわれわれが抱えている課題を取り上げてもらった。社会に出て課題解決に向けてまい進してもらいたい」と話した。

今後対象の大学を年によって変えるなどしてコンテストを継続していきたいとしている。

このほか審査員特別賞を木村美涼さん、優秀賞を高田陽平さんと可児拓也さんが受賞した。